

(別紙2)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成22年4月26日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3972400265
法人名	社会福祉法人 ふるさと会
事業所名	グループホーム 福寿の家
所在地	〒789-1938 高知県吾川郡いの町中追2598-1
自己評価作成日	平成21年11月30日
評価結果市町村受理日	平成22年5月10日

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	高知県社会福祉協議会
所在地	〒780-8567 高知県高知市朝倉戊375-1 高知県立ふくし交流プラザ
訪問調査日	平成21年12月16日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://kaigo.pippikochi.or.jp/kaigosip/informationPublic.do?JCD=3972400265&SCD=320
-------------	---

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

過疎地域に位置している点をマイナスととらえず、高齢化の進む地域にあってこそできる事に取り組んでいます。地域に出て一緒に行う体操や、地域の方々と共に実施する祭りなどの行事を通じて、この地区にあってこそその事業所として交流を深めていきたいと思っています。利用者が事業所に閉じこもることなく進んで外部と交流する機会を作り、生き生きと日々の生活を送ることができるよう、全職員で取り組んでいます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

四国の渓谷百選の風光明媚な緑に包まれ事業所は佇んでいる。この広大な自然を生かし、新緑祭やもみじ祭の開催が毎年恒例の楽しみとなっており、地域活性化の一翼を担っている。利用者は、併設のデイサービスセンターや温泉風呂施設が一体化した「中追の里」を「ふるさとの我が家」として、職員と共に暮らしている。また、人里から離れた立地条件のなか、事業所では利用者が閉じこもることがないように配慮し、利用者の希望に沿った個別対応や季節に応じて行楽地に出かけるなど、積極的に外出支援に取り組んでいる。一方、地域住民を対象に事業所の行事等の機会を通じて、認知症の理解促進や相談を受けており、今後も地域になくてはならない事業所としての発展が期待される。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	基本理念、基本目標をホーム内に掲示し、常に理念を念頭に置いたケアを実践している。	利用者の尊厳を重んじた事業所独自の理念を作成しており、職員は6項目の目標を念頭に、利用者、家族の思いに沿ったサービス提供に取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域住民参加のホームでの行事、あるいは利用者が地区公民館等に出て行き、定期的な体操を一緒に行うなど、常に交流を深めている。	敷地内を通っている町道の一斉清掃や、毎週公民館で行われる体操に利用者も参加し、日常的に地域に溶け込み、交流している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	利用者が外に出て行くことや、ホームの行事等の機会を通じ、機会があれば、認知症の理解を啓蒙している。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	サービス提供の状況や評価結果等について報告し、参加委員から様々な意見が出て、過疎地の今後の課題やホームへの期待など話合っている。	事業所の活動報告、行事予定、反省点など提案し、参加委員から活発な意見や話題の提供があり、双方向的な会議となっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>地域包括支援センター主催の勉強会、事例検討会には欠かさず出席し、問題やあるべき事業所の姿を共に考えるようにしている</p>	<p>運営推進会議を通じて事業所の実情を報告したり、地域包括支援センターの勉強会に参加し、情報収集や運営改善等に活かすなど、協力関係を築いている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>講習会等あればできるだけ受講し、理解を深め、身体拘束とは何か、全職員でしっかりと考え、ケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束に関する研修会に参加し、伝達講習を行い、職員の理解を深め、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。外出傾向や習慣を把握し、さりげなく声を掛けたり一緒についていくなど、安全面に配慮して自由な暮らしを支えるようにしている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待防止についての研修会に参加し、虐待がないよう職員の意識を喚起している。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>研修会に参加し、制度の理解を深めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入居の可能性がでてきた段階で、前もって内容を説明すると共に、家族に契約書を渡し、理解するに十分な時間を持ってもらった後で契約している。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>意見、要望があればいつでも職員や第三者委員に内容を表明できるよう努め、運営に反映させるようにしている</p>	<p>家族の面会時には、職員から声をかけ、気軽に意見等を出してもらおう雰囲気づくりに留意している。家族同士で話し合う機会を持つことを家族に働きかけている。</p>	<p>家族は意見や要望、不満を言い出し難い立場にあることを理解し、現在取り組んでいる、家族同士の懇談の場づくりを期待したい。</p>
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>毎週1回の職員会を通じ、職員からの意見や提案を聞くと共に、いつでもその機会を設けている。</p>	<p>運営者、管理者は、職員会や個別面談を通じて職員の要望や意見を聞くよう心掛けている。職員から休憩時間の取得について提案があり、運営につなげている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>職員の勤務状況等を把握し、労働環境の改善に努め、年休の消化、休憩時間の確保について、常々職員に管理者から指示を出している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	様々な研修や勉強会を通じて、介護の技量やケア全般について研鑽している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	毎月のグループホーム連絡会事例検討会に職員が出席し交流を図り、勉強会を通じてサービスの向上に努めている。その他の同業種の研修会等にも出席している。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人の思い、人生歴、生活環境や住んできた地域の状況等を聞き、今後のホームにおける関係づくりに心掛けている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	利用開始前に、家族と話し合いの時間を十分に持ち、不安のないように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	利用者本人、家族から必要としている事柄を聞き、必要な対応をしている。		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	共同生活介護事業所として本来あるべき利用者参加の日常生活が送れるよう、家事や畑作業などできる限り一緒に行っている。		
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	地理的に不便な場所にあることを念頭に置き、機会あれば家族参加の行事等の機会を作り、コミュニケーションの頻度を深めるようにしている。		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	ホーム内に閉じこもることがないように、できるだけ外出の時間を設け、思い出の場所、知人等との関係を維持できるように支援している。	利用者のこれまでの生活で思い出のある地域や利用者が所有する山にハイキングに行くなど、個別に支援し、馴染みの関係が継続できるようにしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	それぞれに交流の濃密があるので、その点を見極めながら、仲の良い関係が維持できるように配慮している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院退所された方でも、入院先の病院に利用者と一緒にお見舞いに行くなどしている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	できるだけ一人にしない、ならないように常に配慮し、言葉を交わして利用者の思いを把握するように努めている。	日々の関わり合いの中で声をかけ、言葉や表情などから、その真意を汲んだり、確認するようにしている。食事時には、食事メニューや飲み物を10種類から選ぶなど、提供サービスが選択できるよう工夫している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時に把握した生活歴等だけでなく、以後も機会あれば本人についての様々な事柄の把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>日々のケア、申し送り、職員会等で個々の生活や心身の状況、残存能力など把握している。</p>		
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>本人、家族から思いや希望を聞いた上で介護計画を作成し、モニタリングを重ねたのち、見直すべき点を随時次回の計画に反映させている。</p>	<p>利用者の状況に応じて介護計画を作成しており、アセスメント、モニタリングを繰り返しながら、家族の希望や状況の変化に応じて、随時見直している。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>気づいた点や変化などを次の介護計画に活かせる記録に配慮している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>常に利用者が必要とするニーズを把握し、できるだけサービスに反映させるようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域との交流等を通じて、楽しく生き生きとした生活が送れるような時間を多く持てるよう支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	地域的な問題があるため、ほとんど職員の送迎で定期的を受診しており、家族の負担がないよう、また、利用者の便益が図れるように支援している。	利用者、家族が希望するかかりつけ医に受診できるようにしている。通院介助は、殆ど職員が同行し送迎している。受診結果は、その都度家族に連絡している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	介護職員から記録や定期受診後の報告を看護職員に伝達し、適切な看護が受けられるよう支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	ほとんどの場合、協力医療機関が対応してくれるため情報交換や相談はスムーズにできている。その他の医療機関についても適宜情報の交流をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居時に事前に方針について説明し、十分な理解が得られるようにすると共に、地域的な困難さについても納得して頂き、ホームでの支援の限界についても理解をお願いしている。</p>	<p>看取りの指針に沿って家族に説明している。これまで看取りの事例もあり、利用者や家族の意向を踏まえ、医師や職員が連携をとり、安心して納得した最期が迎えられる体制ができています。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>法人内での勉強会、あるいは外部での研修会に出席し、初期対応ができるよう努力している。</p>	/	/
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>地域的な困難さがあるので、台風等予見できる事態に対しては、早めに職員に動員をかけると共に、特に夜間の応援職員の配置を増員している。また、地区会にも協力をお願いしている。</p>	<p>年2回、消防署の協力を得て避難訓練を実施している。民家等が周辺になく、緊急時には隣接するデイサービスセンターを避難場所としている。災害時に備え職員配置体制など、自主防災対策を整えており、地区会への協力依頼もしている。</p>	
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>人格を尊重し、その人らしい生活が維持できるように、必要な介護を目立たないようにさりげなく行うように努力すると共に職員会等でも常に意識を持つようにしている。</p>	<p>利用者の誇りを傷つけないよう、トイレ誘導時等の声かけは小声で話しかけるなど、さりげないケアに心がけている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	毎日のケアの中で会話をして、本人の思いをできるだけ聞けるようにしている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の生活習慣を何よりも大切にし、起床から就寝まで本人のペースで生活が継続できるように配慮している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	服装、身の回りに気を配り、できるだけ本人にあったおしゃれができるように配慮すると共に、なにより清潔であるように注意している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食材作りから、調理、盛り付け、配膳までできるだけ職員と一緒にできる声掛けし、食事中も会話を楽しんでいる。食事が終わると下膳や食器洗いや食器拭きなど一緒にしている。	その日のメニューは、利用者と相談し決めている。調理、盛り付け、片付け等も利用者と共に行い、落ち着いて食事できるよう職員自身がゆったりとした雰囲気づくりを大切にしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者の体調や精神状態等を把握し、適切な食事量や栄養の摂取ができるように考え、希望を聞き、できるだけ応じるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食事後は全員に必ず声をかけ、状況に応じて介助しながら、口腔内の清潔保持ができるようにしている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	声かけや時間誘導等で排泄の失敗がないように援助するとともに、夜間の就寝時でも巡視時に適宜声かけしてトイレ誘導している。	排泄パターンを把握し、できるだけトイレで排泄できるよう支援している。定時の誘導や行動等で尿意を察し、支援することで、尿取りパットがとれた事例がある。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	利用者に排泄の大切さを理解してもらい、水分補給の目標数量が達成できるよう機会あるごとに声かけしたり、できるだけ運動するように働きかけている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴は希望する時間や順番について、利用者の希望を聞いて行っている。	入浴時間は午後の時間帯になっているが、職員が一方的に決めず、利用者の気持ちを優先して入浴の支援をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している</p>	常に体調や精神状態を把握し、無理のないように安眠や、休息ができるよう支援している。		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	使用薬については、情報を共有するとともに、毎朝の申し送りや毎週の職員会で確認し、利用者の状況についても常に把握している。		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	歌や家事、畑仕事など利用者それぞれの楽しみごとが日々充実して実施できるように支援をし、楽しい生活が送れるように配慮している。		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	地域的な問題があるため、極力ホームにこもらないように機会あるごとに外出できるよう援助し、家族にも一緒に参加するよう声かけしている。	飼育している猿や鳥を見に行ったり、離れの売店へコーヒーを飲み10名位が日常的に散歩している。また、利用者にとって思い出の場所である県内の行楽地に出かけるなど、出来るだけ外出する機会を組み入れている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>利用者の希望する買い物に職員が付添い、本人自身が金銭管理できるよう援助している。ホームの買い物に利用者も一緒に行き、自分の買い物を楽しむようにしている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>利用者がさまざまな通信手段を使用して家族や知人と交流を持ち続けられるように声かけし、援助している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>不愉快な刺激がないように、また気持ち良く過ごせるように利用者の意見を聞くとともに、職員も常に室温や湿度に配慮し、花や観葉植物を飾るなど、心地良い環境作りに努めている。</p>	<p>共用空間は、家庭的で利用者にとって落ち着いた雰囲気となっている。冬場は窓から庭のイルミネーションが楽しめる。自然の中に包まれて、季節の移り変わりを堪能できる環境にある。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>利用者同士の交流ができるだけ充実したものになるように配慮するとともに、好悪のある利用者同士の椅子の位置などにも配慮している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者本人あるいは家族等の写真を居室に飾るとともに、家具など馴染みの物を持ってきてもらい、居心地良く生活できるように工夫している。</p>	<p>家族写真や思い出の品々が飾られている。持ち込みの少ない方も職員と利用者が相談しながら、過ごしやすいよう工夫している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>居室やトイレ、浴室の場所がわかりやすいように大きく表示するとともに、生活空間に危険物あるいは邪魔な物が無いように気を配り、照明灯も適切な明るさになっているか配慮している。</p>		

V アウトカム項目		ユニット名 : 1 F	
項 目		該当するものに○印	取り組みの成果
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1. ほぼ全ての利用者の
			2. 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1. 毎日ある
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている。 (参考項目：30, 31)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている。 (参考項目：28)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

項 目		該当するものに○印	取り組みの成果
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：2, 20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11, 12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	基本理念、基本目標をホーム内に掲示し、常に理念を念頭に置いたケアを実践している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域住民参加のホームでの行事、あるいは利用者が地区公民館等に出て行き、定期的な体操を一緒に行うなど、常に交流を深めている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	利用者が外に出て行くことや、ホームの行事等の機会を通じ、機会があれば、認知症の理解を啓蒙している。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	サービス提供の状況や評価結果等について報告し、参加委員から様々な意見が出て、過疎地の今後の課題やホームへの期待など話し合っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	地域包括支援センター主催の勉強会、事例検討会には欠かさず出席し、問題やあるべき事業所の姿を共に考えるようにしている		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	講習会等あればできるだけ受講し、理解を深め、身体拘束とは何か、全職員でしっかりと考え、ケアに取り組んでいる。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止についての研修会に参加し、虐待がないよう職員の意識を喚起している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修会に参加し、制度の理解を深めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入居の可能性がでてきた段階で、前もって内容を説明すると共に、家族に契約書を渡し、理解するに十分な時間を持ってもらった後で契約している。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>意見、要望があればいつでも職員や第三者委員に内容を表明できるよう努め、運営に反映させるようにしている</p>		
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>毎週1回の職員会を通じ、職員からの意見や提案を聞くと共に、いつでもその機会を設けている。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>職員の勤務状況等を把握し、労働環境の改善に努め、年休の消化、休憩時間の確保について、常々職員に管理者から指示を出している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	様々な研修や勉強会を通じて、介護の技量やケア全般について研鑽している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	毎月のグループホーム連絡会事例検討会に職員が出席し交流を図り、勉強会を通じてサービスの向上に努めている。その他の同業種の研修会等にも出席している。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人の思い、人生歴、生活環境や住んできた地域の状況等を聞き、今後のホームにおける関係づくりに心掛けている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	利用開始前に、家族と話し合いの時間を十分に持ち、不安のないように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用者本人、家族から必要としている事柄を聞き、必要な対応をしている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	共同生活介護事業所として本来あるべき利用者参加の日常生活が送れるよう、家事や畑作業などできる限り一緒に行っている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	地理的に不便な場所にあることを念頭に置き、機会あれば家族参加の行事等の機会を作り、コミュニケーションの頻度を深めるようにしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ホーム内に閉じこもることがないように、できるだけ外出の時間を設け、思い出の場所、知人等との関係を維持できるように支援している。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	それぞれに交流の濃密があるので、その点を見極めながら、仲の良い関係が維持できるように配慮している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	入院退所された方でも、入院先の病院に利用者と一緒にお見舞いに行くなどしている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	できるだけ一人にしない、ならないように常に配慮し、言葉を交わして利用者の思いを把握するように努めている。		
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	入所時に把握した生活歴等だけでなく、以後も機会あれば本人についての様々な事柄の把握に努めている。		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	日々のケア、申し送り、職員会等で個々の生活や心身の状況、残存能力などを把握している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>本人、家族から思いや希望を聞いた上で介護計画を作成し、モニタリングを重ねたのち、見直すべき点を随時次の計画に反映させている。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>気づいた点や変化などを次の介護計画に活かせる記録に配慮している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>常に利用者が必要とするニーズを把握し、できるだけサービスに反映させるようにしている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域との交流等を通じて、楽しく生き生きとした生活が送れるような時間を多く持てるよう支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>地域的な問題があるため、ほとんど職員の送迎で定期的受診しており、家族の負担がないよう、また、利用者の便益が図れるように支援している。</p>		
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>介護職員から記録や定期受診後の報告を看護職員に伝達し、適切な看護が受けられるよう支援している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>ほとんどの場合、協力医療機関が対応してくれるため情報交換や相談はスムーズにできている。その他の医療機関についても適宜情報の交流をしている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居時に事前に方針について説明し、十分な理解が得られるようにすると共に、地域的な困難さについても納得して頂き、ホームでの支援の限界についても理解をお願いしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>法人内での勉強会、あるいは外部での研修会に出席し、初期対応ができるよう努力している。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>地域的な困難さがあるので、台風等予見できる事態に対しては、早めに職員に動員をかけると共に、特に夜間の応援職員の配置を増員している。また、地区会にも協力をお願いしている。</p>		
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>人格を尊重し、その人らしい生活が維持できるように、必要な介護を目立たないようにさりげなく行うように努力すると共に職員会等でも常に意識を持つようにしている。</p>		
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>毎日のケアの中で会話をし、本人の思いをできるだけ聞けるようにしている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>利用者の生活習慣を何よりも大切にし、起床から就寝まで本人のペースで生活が継続できるように配慮している。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している</p>	<p>服装、身の回りに気を配り、できるだけ本人にあったおしゃれができるように配慮すると共に、なにより清潔であるように注意している。</p>		
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>食材作りから、調理、盛り付け、配膳までできるだけ職員と一緒にできる声掛けし、食事中も会話を楽しんでいる。食事が終わると下膳や食器洗いや食器拭きなど一緒にしている。</p>		
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>利用者の体調や精神状態等を把握し、適切な食事量や栄養の摂取ができるように考え、希望を聞き、できるだけ応じるようにしている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>食事後は全員に必ず声をかけ、状況に応じて介助しながら、口腔内の清潔保持ができるようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	声かけや時間誘導等で排泄の失敗がないように援助するとともに、夜間の就寝時でも巡視時に適宜声かけしてトイレ誘導している。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	利用者に排泄の大切さを理解してもらい、水分補給の目標数量が達成できるよう機会あるごとに声かけしたり、できるだけ運動するように働きかけている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴は希望する時間や順番について、利用者の希望を聞いて行っている。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	常に体調や精神状態を把握し、無理のないように安眠や、休息ができるよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	使用薬については、情報を共有するとともに、毎朝の申し送りや毎週の職員会で確認し、利用者の状況についても常に把握している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	歌や家事、畑仕事など利用者それぞれの楽しみごとが日々充実して実施できるように支援をし、楽しい生活が送れるように配慮している。		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	地域的な問題があるため、極力ホームにこもらないように機会あるごとに外出できるよう援助し、家族にも一緒に参加するよう声かけしている。		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	利用者の希望する買い物に職員が付添い、本人自身が金銭管理できるよう援助している。ホームの買い物に利用者も一緒に行き、自分の買い物を楽しむようにしている。		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	利用者がさまざまな通信手段を使用して家族や知人と交流を持ち続けられるように声かけし、援助している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	不愉快な刺激がないように、また気持ち良く過ごせるように利用者の意見を聞くとともに、職員も常に室温や湿度に配慮し、花や観葉植物を飾るなど、心地良い環境作りに努めている。		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	利用者同士の交流ができるだけ充実したものになるように配慮するとともに、好悪のある利用者同士の椅子の位置などにも配慮している。		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	利用者本人あるいは家族等の写真を居室に飾るとともに、家具など馴染みの物を持ってきてもらい、居心地良く生活できるように工夫している。		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	居室やトイレ、浴室の場所がわかりやすいように大きく表示するとともに、生活空間に危険物あるいは邪魔な物が無いように気を配り、照明灯も適切な明るさになっているか配慮している。		

V アウトカム項目		ユニット名 : 2 F	
項 目		該当するものに○印	取り組みの成果
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目 : 23, 24, 25)	○	1. ほぼ全ての利用者の
			2. 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目 : 18, 38)	○	1. 毎日ある
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目 : 38)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目 : 36, 37)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目 : 49)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている。 (参考項目 : 30, 31)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている。 (参考項目 : 28)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

項 目		該当するものに○印	取り組みの成果
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：2, 20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11. 12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない